

## 小 松 基 地 ・ 空 港 対 策 特 別 委 員 会

1. 日 時 平成 28 年 6 月 21 日 (火)  
午後 1 時 30 分 開会 午後 1 時 52 分 閉会
2. 場 所 第 2 委員会室
3. 出席委員 灰田昌典委員長、川崎順次副委員長、新田寛之委員、梅田利和委員、  
片山瞬次郎委員、宮川吉男委員、浅野清利委員
4. 欠席委員 なし

### 5. 委員会の議題

調査事項 ・ 在日米軍再編に係る訓練移転について

報告事項

- 【飛行場課】 ・ 小松基地観碧会について  
・ 小松飛行場周辺整備協議会新役員について

【国際都市推進課】

- ・ アゼルバイジャン便について

### 6. 委員長報告の要旨

#### ■ 在日米軍再編に係る訓練移転について

現時点において、小松基地における訓練計画もなく、実施されていないとのことでもあります。訓練の実施については、小松市民にとって関心の高い事であることから、今後とも、速やかな情報提供に努めるよう求めたものであります。

#### ■ 飛行教導群の移動について

飛行教導群の小松基地への移動について、F-15 戦闘機など航空機が約 10 機と、増員予定されている約 170 名のうち、100 名弱の隊員が 5 月中旬から移動を始め、6 月 10 日までに移動を終えており、残る隊員の移動は、夏以降になるとのことです。

今回、移動された隊員は、おおむね半数の隊員が基地内のいわゆる隊舎で生活し、残りの半数の隊員が基地外の宿舎か、隊員が個人的に借りたアパートあるいは借家で生活するとのことであります。家族を伴って転居してきた隊員は、30名ほどいるとのことであります。

6月10日金曜日小松基地において、飛行教導群の移動完了のセレモニーが開かれました。その後、招待された約220名の地元関係者と飛行教導群の約70名の隊員そして小松基地の隊員が、意見や情報の交換をしております。

また、飛行教導群の最初の訓練が、6月20日月曜日に行われました。

午前1回、午後1回、夕方1回の計3回、基地周辺の飛行ルートの確認や、訓練空域において戦術を指導するための訓練を行ったとのことであります。

今後、飛行教導群の訓練が加わり小松基地における飛行回数が増えることから、これまで以上に安全対策、騒音対策を徹底し、飛行の安全や協定の順守を求めたものであります。

#### ■小松飛行場周辺整備協議会について

去る5月24日の小松飛行場周辺整備協議会総会において決定した今年度の新役員等についての報告がありました。

総会では、飛行教導群の訓練が加わり騒音が拡大されることを念頭に、騒音測定の実施を図るため、騒音測定機を今までの1台体制から2台体制にすることも決定され、総会終了後に、騒音についての理解を深めるため、講習会を開催したとのことであります。今後も、周辺整備協議会として、騒音測定調査の実施や各種要望活動を行いながら、飛行場周辺地域の環境整備を促進し、地域の発展、福祉の向上を図っていくとのことであります。

#### ■航空祭について

昨年同様、9月19日月曜日の祝日に開催することが決定されました。

航空祭は、小松市の1大イベントであり、経済効果が期待でき、飛行教導群が配置されたことでもあり、今まで以上に多くの人を訪れるものと予想されますので、交通渋滞対策や駐車場の確保など関係機関と調整し、円滑に航空祭が開催されるよう求めたものであります。